

父 スワーヴリチャード
メス 栗毛 2025年2月26日生まれ コスモヴェューファーム



スワーヴリチャード
栗毛 2014年

ウインマイティーの25
メス 栗毛 2025.2.26

ウインマイティー
芦毛 2017年

ハーツクライ 鹿毛 2001年	*サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo Wishing Well
	アイリッシュダンス	*トニービン *ビューバーダンス
*ピラミマ Pirramimma (USA) 黒鹿毛 2005年	アンブライドルズ ソング Unbridled's Song	Unbridled Trolley Song
	*キャリアコレクション Career Collection	General Meeting River of Stars
ゴールドシップ 芦毛 2009年	ステイゴールド	*サンデーサイレンス ゴールデンサッシュ
	ポイントフラッグ	メジロマックイーン バストラリズム
アオバコリン 栗毛 1999年	*カコイーシーズ Cacoethes	Alydar Careless Notion
	*コリンズドゥブルイェール Colline de Bruyere	Lomond Gold and Purple

*サンデーサイレンス 3S×4D

母 系

母**ウインマイティー**(17 ゴールドシップ) 4勝, マーメイド S -G3(芝2000m), 同2着, 忘れな草賞-L(芝2000m), デイジー賞(芝1800m), オークス-G1 3着, 京都大賞典-G2 3着。本馬が初仔
祖母**アオバコリン**(99 *カコイーシーズ) 南関東公 7勝, トウインクルレディー賞 2着, 同5着, T C K 女王盃-JPN3 3着, マリーン C -JPN3 3着, ロジータ記念 3着, スパークینگレディー C -JPN3 4着, ファーストレディー賞 4着, 東京大賞典-JPN1 5着, エンプレス杯-JPN2 5着。産駒
ウインヒューゲル(牡 トーセンホマレボシ) 兵庫② 1勝, 高知公 2勝
ミウラチェルシー(牝 *アジュディケーティング) 南関東公 1勝
ミウラオオスケ(牡 *アジュディケーティング) 南関東公 1勝
曾祖母 *コリンズドゥブルイェール Colline de Bruyere(89 Lomond) 愛国産, 仏入着。産駒
タキノイッキ:南関東公 1勝
四代母**ゴールド アンド パープル** Gold and Purple(84 Golden Fleece) 不出走。産駒
ジュリー ラ ルース Julie La Rousse:愛 2勝, Solonaway Race-L, 愛 1000ギニー-G1 2着, 北米 5勝, スワニー リヴァー H -G3, Bayakoa H-L, My Charmer H-L, オールアロング S -G2 2着。産駒
マリンスキー Mariensky:仏 2勝, Criterium de Lyon-L, 北米 3勝, シーブスヘッド ベイ H -G2, ジャスト ア ゲーム B C H -G3
ジュリー ジャルース Julie Jalouse:愛 2勝, Denny Cordell Lavarack Memorial S-L, 北米 2勝, オーキッド H -G2
ラウジン グウィクトリー Rousing Victory:北米 4勝, John Henry S, John's Call S, ジャマイカ H -G2 2着
サミット パーク Summit Park:北米 3勝, Wayward Lass S 3着。産駒
ティギ Tigi:北米 3勝, Capital Request S, Shocker T H-L 2着
ラグタイム ランブル Ragtime Rumble:不出走。産駒
ザンバ カヌータ Zamba Canuta:ペルー 2勝, Premio Maiden-form-L, ペルー ダービー-G1 2着, ペルー オークス-G1 2着, パンプローナ賞-G1 2着, 北米 1勝



母の父

ゴールドシップ
日高産、最優秀3歳牡馬、13勝、
皐月賞-G1(2000m)、菊花賞-G1
(3000m)、有馬記念-G1(2500
m)、宝塚記念-G1(2200m)2回、
天皇賞・春-G1(3200m)。主な
産駒 ユーバーレーベン(オークス
-G1)、メイショウタバル(宝塚記念
-G1 2回)、マイネルエンペラー(日
経賞-G2)、ウインキートス(目黒
記念-G2)、ゴールデンハインド(フ
ローラS-G2)、ウインマイティー
(マーメイドS-G3)、コガネノソラ
(クイーンS-G3)

CHECK POINT

母は有馬記念6着など本当によく頑張ってくれましたが、足りなかったのは最後の直線の切れる脚でした。その父ゴールドシップ産駒の特徴でもあるので仕方ない部分ではありますが……。そこで配合相手にはスワーヴリチャードを選択しました。父はハーツクライ系なのでディーブインバクト系ほどの切れ味はないですが、それでも産駒はよく活躍しており、産駒が大きめの印象もあったので初仔として合うのではと思いました。本馬は気候が暖くなるにつれて肉付きが良くなり見栄えするようになりました。体型のバランスも良く、脚の運びもスムーズで可動域が広く、それでいて力の伝達もしっかりできています。いきなり活躍を期待するのは酷かもしれませんが、期待せずにはられません。

